



日本広告業協会 第56回 懸賞論文応募

「特別部門」記入フォーマット (40文字×30行) 1ページ1,200文字詰<本文5ページまで>

※フォーマットの改変(文字数の増減)は★審査対象外★となりますのでご注意ください。

「表紙」

第56回 懸賞論文募集

赤文字の部分が、記入箇所です
タイトル箇所に記入して下さい

特別部門

タイトル『****こちらに入力してください****』

Sample



日本広告業協会 第56回 懸賞論文応募

「特別部門」記入フォーマット (40文字×30行) 1ページ1,200文字詰く本文5ページまで
※フォーマットの改変(文字数の増減)は★審査対象外★となりますのでご注意ください。

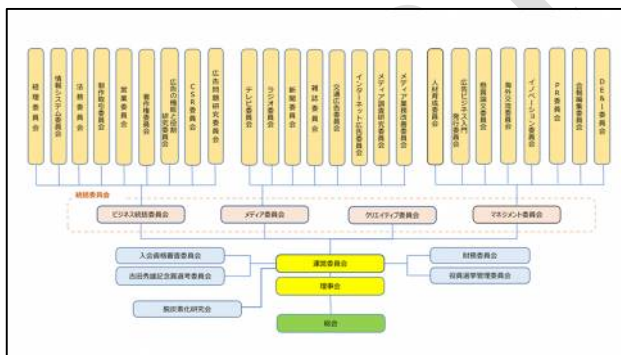
一般社団法人 日本広告業協会(理事長 高嶋達佳・㈱電通 会長)主催による第43回「懸賞論文」は、2月27日、28日の本協会懸賞論文委員会の最終審査会において「論文」および「私の言いたいこと <一般部門> <新人部門>」の入賞・入選作品を選考し、3月12日開催の第277回理事会にて承認、決定した。

高嶋達佳・㈱電通 会長)主催は、2月27日、28日の本協会懸賞論文委員会の最終審査会において「この部分に記入して下さい」として「私の言いたいこと <新人部門>」の入賞・入選作品を選考した。てある文章は消してください。同賞は、協会会員社内における

最初に入っている「本文ここから書き始めてください」は消し、はじめの行から執筆を始めてください。
※赤字が本文部分です。
本文部分は5枚まで増やして構いません
図などがあれば、適宜挿入してください。ただし、図なども含めた本文総数が5枚を超えないようにしてください。

要約文は、1ページ以内です。趣旨で昭和46年に第1回の募集が開始され、今年度で43回を数える。要約文は、受賞時には本文とあわせて発表されます。

応募は、「論文」の部「明日の広告ビジネス」に58編、「私の言いたいこと<一般部門><新人部門>」の部に375編、計433編あった。厳正なる審査の結果、論文から金賞・銀賞・銅賞の3つが選出され、「私の言いたいこと」からは入選9作品が選出された。



(図1)

一般社団法人 日本広告業協会(理事長 高嶋達佳・㈱電通 会長)主催による第43回「懸賞論文」は、2月27日、28日の本協会懸賞論文委員会の最終審査会において「論文」および「私の言いたいこと <一般部門> <新人部門>」の入賞・入選作品を選考し、3月12日開催の第277回理事会にて承認、決定した。一般社団法人 日本広告業協会(理事長 高嶋達佳・㈱電通 会長)主催による第43回赤字が要約文の記入部分です 「懸賞論文」



日本広告業協会 第56回 懸賞論文応募

「特別部門」記入フォーマット (40文字×30行) 1ページ1,200文字詰<本文5ページまで>

※フォーマットの改変(文字数の増減)は★審査対象外★となりますのでご注意ください。

は、2月27日、28日の本協会懸賞論文委員会の最終審査会において「論文」最初に入っていた「この部分に記入して下さい。今書いおよび「私の言いたいこと <一般部門> <新人部門>」の入賞・入選作品を選考し、3月12日開催の第277回理事会にて承認、決定した。てある文章は消して下さい」は消し、論文の要約文を書き始めてください。

同賞は、協会会員社内における実務に根ざした主張や提言を広告業界に反映させるという要約文は、1ページ以内です 趣旨で昭和46年に第1回の募集が開始され、今年度で43回を数える。要約文は、受賞時には本文とあわせて発表されます。

応募は、「論文」の部「明日の広告ビジネス」に58編、「私の言いたいこと<一般部門><新人部門>」の部に375編、計433編あった。厳正なる審査の結果、論文から金賞・銀賞・銅賞の3つが選出され、「私の言いたいこと」からは入選9作品が選出された。

一般社団法人 日本広告業協会(理事長 高嶋達佳・㈱電通 会長)主催による第43回「懸賞論文」は、2月27日、28日の本協会懸賞論文委員会の最終審査会において「論文」および「私の言いたいこと <一般部門> <新人部門>」の入賞・入選作品を選考し、3月12日開催の第277回理事会にて承認、決定した。一般社団法人 日本広告業協会(理事長 高嶋達佳・㈱電通 会長)主催による第43回赤字が要約文の記入部分です 「懸賞論文」は、2月27日、28日の本協会懸賞論文委員会の最終審査会において「論文」最初に入っていた「この部分に記入して下さい。今書いおよび「私の言いたいこと <一般部門> <新人部門>」の入賞・入選作品を選考し、3月12日開催の第277回理事会にて承認、決定した。てある文章は消して下さい」は消し、論文の要約文を書き始めてください。

同賞は、協会会員社内における実務に根ざした主張や提言を広告業界に反映させるという要約文は、1ページ以内です 趣旨で昭和46年に第1回の募集が開始され、今年度で43回を数える。要約文は、受賞時には本文とあわせて発表されます。

本文部分は5枚まで増やして構いません



参考文献・引用文献表記ガイドライン 日本広告業協会 懸賞論文委員会

参考文献・引用文献の表記方法について、下記に定めます。

◎文献は和文、欧文の順で、和文は
ファベット順に並べてください。

*◎欧文の場合、記事のタイトルは

参考文献・引用文献があれば、このページを参考
にして、記入して下さい

参考文献などない場合は、このページ自体を削除
してしまって構いません

(1) 図書・論文

ハーバード方式に準拠し、次の要領で表示してください。

①和文単行本の例

小林太郎 (1968) 『広告管理の理論と実際』同文館

②和文雑誌論文の例

八巻俊雄 (1980) 「広告表現の国際比較」『広告科学』第6集、46-59

③和文所収論文の例

小泉真人 (2012) 「広告予算と広告会計」石崎徹編著『わかりやすい広告論第2
版』八千代出版、84-99

④欧文単行本の例

Lane, R., K. W. King and T. Russell (2005), *Kleppner's Advertising Procedure*,
16th ed., Prentice-Hall, Inc.

⑤欧文雑誌論文の例

Aaker, D. A. and J. A. Carman (1982), "Are You Overadvertising?," *Journal of
Advertising Research*, 22(4), 57-70.

⑥欧文文献で翻訳がある場合の例

Kotler, P., H. Kartajaya and I. Setiawan (2010), *Marketing 3.0: From Products
to Customers to the Human Spirit*, John Wiley & Sons (恩藏直人監訳、藤
井清美訳 (2010) 『コトラーのマーケティング 3.0』朝日新聞出版)

(2) 新聞、一般雑誌

①署名記事の場合、論文と同様の形式で表示してください。



日本広告業協会 第56回 懸賞論文応募

「特別部門」記入フォーマット (40文字×30行) 1ページ1,200文字詰<本文5ページまで>

※フォーマットの改変(文字数の増減)は★審査対象外★となりますのでご注意ください。

*②無署名記事の場合、新聞または雑誌の誌名、記事名、発行日付(新聞)あるいは号数(雑誌)を表示してください。

(3) ウェブサイト

参考・引用文献がウェブサイト上の記事の場合は、参考・引用文献の次に<参考・引用サイト>として管理機関・管理者のアルファベット順に、①管理機関・管理者名、②記事のタイトル、③URL(カッコで表示すること)、④アクセス日時、を記載してください。

【例】

日本広告業協会「第53回懸賞論文」(<https://www.jaaa.ne.jp/ronbun53/>)、アクセス日時：2023年6月1日

* (4) SNS

参考文献がSNSのツイート等の場合は、①アカウント名、②内容のタイトル(あれば)、③URL(カッコで表示すること)、④アクセス日時、を記載してください。

参考：日本広告学会関東部会 学生広告論文賞 執筆要領 (ver. 1.7) 「参考文献」

http://jaaweb.jp/bukai_kanto/pdf/2023studentaward_02.pdf

ただし(*)はJAAA懸賞論文の規定とする